

金融団体の金融経済教育に関する講師派遣体制

(別紙9)

	特 徴	講師 (人数については2013年11月現在)	テーマ (事例)
金融広報中央委員会 「金融広報アドバイザー 制度」	自治体やグループ、学校、他団体などから依頼された講演会やセミナー、学習会などの講師として、金融広報アドバイザーを無料で派遣し、地域の方々に対し、中立公正な立場から客観的で正確な金融関連知識を提供。	各地金融広報委員会が金融経済に関する有識者などを金融広報アドバイザーとして選任し、金融広報中央委員会が委嘱する制度。金融広報アドバイザーは473名(金融機関OBも多数)。	「金融・経済の仕組み」、「資産運用」、「生活設計」、「金融商品」、「年金」、「保険」、「金融トラブル」、「金融・金銭教育等」など
全国銀行協会 「どこでも出張講座」	金融経済教育の一環として、各地域・グループ・学校などで開催される講演会、セミナー、授業等に講師を無料で派遣する「どこでも出張講座」を実施。	全国銀行協会および全国各地の銀行協会(59協会)の役員職員約160名(金融機関OBも多数)。	「生活設計・家計管理」、「金融(銀行)の仕組みと機能」、「ローンとクレジット」、「金融取引の留意点」、「金融商品の特徴」、「金融犯罪防止」など
エイブロシス(注) 講師派遣サービス (日本証券業協会)	証券に詳しいボランティア講師(証券カウンセラー)を依頼に応じて派遣(講演料、派遣交通費は無料)。主な派遣先は、公的機関、民間企業、労働組合、学校(特に大学)、個人グループ。	証券カウンセラーとして、115名が登録(大多数が証券会社OB)。	「証券投資を始めるにあたっての心がまえ」、「主な金融商品の基礎知識とチェックポイント」、「株式投資に役立つ決算資料の見方」、「賢い資産運用とリスクへの対応」、「マネープランと資産運用」、など
日本損害保険協会 「講師派遣」	消費者の方々に損害保険の仕組みや役割を理解してもらうために、講師派遣事業を実施(無料)。損害保険やその周辺知識に関する講演会、勉強会、研修会等に派遣。	OB講師24名。このほか、本部、11支部の職員も対応。	「暮らしの中の危険と損害保険」、「交通事故とその責任」、「自然災害と損害保険」、「損害保険の上手な選び方」など

(注) エイブロシス(特定非営利法人 投資と学習を普及・推進する会)は、証券界、産業界、学識経験者等の協力を得て、証券投資に関心のある個人投資家等を対象に、証券と証券投資の学習を支援することを目的として活動。

	特 徴	講師（人数については2013年11月現在）	テーマ（事例）
生命保険文化センター 「講師派遣」	公正・中立な立場から、生命保険の活用方法や生活設計、年金、医療・介護などをテーマに、社会保障制度や生命保険に関する正しい知識の理解促進に努めている（無料）。	生命保険文化センター職員14名（プロパー職員、生命保険会社からの出向者・OB）。なお3名は専任、それ以外は他業務を兼務。	「生命保険の基礎知識」、「生命保険と契約」、「医療保険と介護保険」、「公的年金と個人年金」、「生活設計と生命保険」、「生活保障と生命保険」、「定年退職準備」、「生活とリスク管理」、「私的保障としての生命保険」など
日本FP協会 「パーソナルファイナンス教育インストラクター派遣」	パーソナルファイナンス教育インストラクターによる出張事業（無料）。主に高校生・教員を対象とするが、内容によっては中学生、大学生等も対象。独自の金融経済テキスト「10代から学ぶパーソナルファイナンス」を使い、学習活動を実践的に支援。	パーソナルファイナンス教育に関する知識・経験を持つFP（パーソナルファイナンス教育インストラクター）62名。	「ライフプラン」、「職業選択と雇用形態、生涯賃金」、「消費者トラブル」、「税金と社会保障」、「パーソナルファイナンス概要」など
日本取引所グループ 「授業支援プログラム」等	授業支援プログラム（小学校～高校対象）では、経済や株式会社、株式の仕組みについてロールプレイングを交えて説明する出前授業を実施（無料）。このほか、大学生向け証券セミナー出張講座や、中学・高校の社会科教員等の研修会などへの講師派遣を実施。	日本取引所グループ職員9名	「私たちの暮らしと株式会社」、「株式会社のしくみと証券市場」、「社会や経済の動きと株価」、「証券市場の機能と役割」など

以 上